

BALL TEST DATA

【セールス資料】 新シリーズ

BALL NAME: **PHYSIX SE**

COLOR: 2-TONE BLACK SOLID

COVER STOCK: NANO™ SMOOTH SOLID REACTIVE

RG:2.48(Low-MED/15P) Δ RG:0.053 (MEDIUM/15P)

FACTORY FINISH: 3000-Grit Abralon®

TRACK FLARE POTENTIAL : 6+(HIGH)

BACK END:19.5 (1-20) MAX LENGTH:16 (1-20)

●	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM OIL 編】

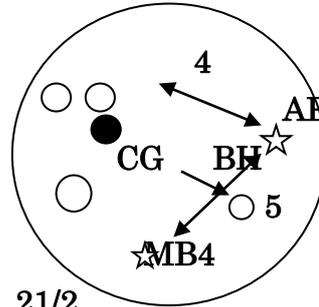


2020年4月2日

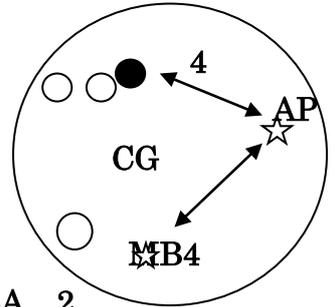
レイアウト例

PHYSIX

PHYSIX SE



PSA 21/2



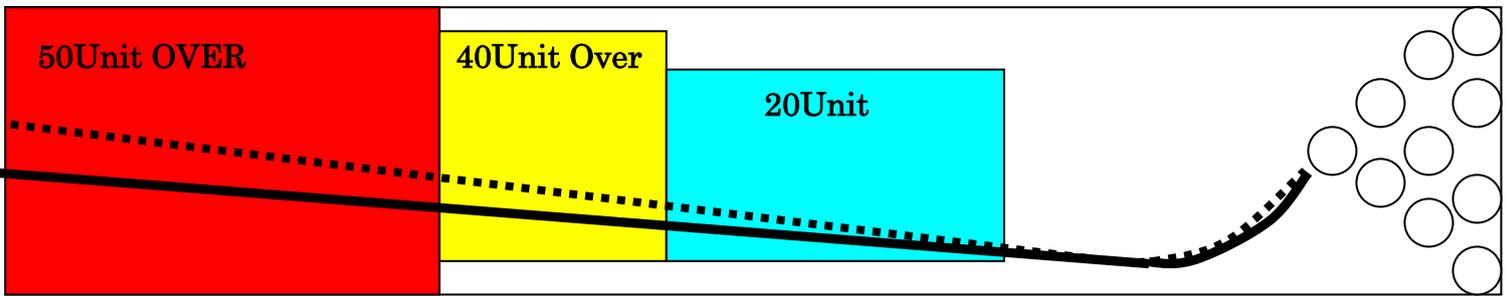
PSA 2

CA55度

CA52.5度

フラー幅 最大 6 1/8・間隔 1/8

最大 6 1/2・間隔 1/8



0F

15F

27F

38F

45F

比較品ライン

PHYSIX SE

PHYSIX

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△				

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)



【ボール総合評価】

PHYSIX 初めての試みの弱い SOLID ですが、この製品は日本のみ発売で数量も限定です。仕様は R2 ベースですのでナノカバーでも弱くなります。表面仕上げは 3000Grit ですので曲がり感はあるのですがやはりオイルを使い過ぎると差を感じます。PHYSIX のラインアップが揃えば皆さんの夢をかなえます。

【ここがポイント】



PHYSIX SE を投げていると私さえ勘違いしますね。良い方の勘違いですがライン幅が本当に広がり失投を感じさせないんですよ。ドライでの反応も急激ではないし、手前の薄いオイルに噛み過ぎる事もなく適度な走りができますし、それでいてピンアクションが過激ですので使い道は本当に広いんですよ。弱い SOLID が良いのではないのですがシリーズ的にここを埋めれば完璧と言う事ですね。アトミックコア自体の回転継続維持力は全ての製品の中でもトップクラスなので、それが弱いカバーをより引き立てているんですね、STORM の開発力にはいつも本当に驚かされます。一体成型での比重がある製品は単に重いだけでは無く回転不足も補う事で威力が発揮できます。

発売予定：2020年7月初旬 テスト協力センター：アヒルボウル向島 販売価格 ¥52,000円 (税別)

テスター 石原 章夫プロ【HIGH SPORTS 専属契約プロ】